レジメン登録フォーマット

申請年月日	2020年3月23日	使用開始日			
登録診療科	血液内科	申請医師	松永一美	化学療法委員会承認年月	年　月
レジメン名	ビーリンサイト（体重45kg未満）（神経学的事象出現時）　6-9サイクル目【計4回】				
疾患名	B細胞性急性リンパ性白血病	適応の備考	再発又は難治のB細胞性急性リンパ性白血病		
適応分類	進行・再発、維持・強化療法		神経学的事象が出現した場合に用いる		
1コース日数	84　日間	総コース数	4　コース	催吐性リスク	軽度
抗がん剤投与量・投与日	ビーリンサイト5μg/㎡/day　day1～28				

治療スケジュール　・　投与日程（投与日は●）　　(day)

投与順	ﾙｰﾄ・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	～	84
1	主ルート	生食50mL	1　本／body	30　分	●																														
	点滴静注	ﾃﾞｷｻｰﾄ注6.6mg	2　本／body		●																														
		ﾃﾞｷｻｰﾄ注1.65mg	2　本／body		●																														
2	主ルート	生食250mL	1　本／body	48　時間	●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●				
	点滴静注	生食20mL	1　本／body		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●				
		注射用水20mL	1　本／body		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●				
		ビーリンサイト	11.48　μg／㎡		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●		●				
	1日あたりの投与量は5μg/㎡(ただし9μg/dayを超えないこと)																																		

【投与上の注意】
・神経学的事象が出現した場合は、このレジメンを用いる。
・ビーリンサイト：投与速度は、投与時間が24時間の場合は10mL/hr、48時間の場合は5mL/hrとする。
・ビーリンサイト：設定した時間が経過したら、残破棄して新しいものに交換すること（残破棄せず全量投与すると過量投与となるため）。
・ビーリンサイト：投与ルートは薬剤溶解液で満たしておく。
・ビーリンサイト：輸液バッグ交換時等にフラッシュを行わないこと（カテーテルロックの際のフラッシュ等は許容）。
・ビーリンサイト：ビーリンサイト投与後の直接のヘパリンロックは禁止（ヘパリンロック前に生食でフラッシュすること）。
・0.2μmのインラインフィルターを使用して投与すること。

【調製手順】
①生食250mLバッグに生食20mLを加え、合計270mLとする
②①で調製した生食バッグに輸液安定化剤5.5mLを泡立たないように注入、撹拌する
③新しいシリンジを用い、ビーリンサイト1Vにつき注射用水3mLで溶解（この時、振らずにゆっくりと撹拌）し、必要量をとる
※調製後、バックスパイクは刺さずに払出すこと